

黒人研究の会会報編集後記



「黒人研究の会会報」

第 22 号

1985

10 ページ

<解説>

高校の教員を5年したあと、教員再養成の兵庫教育大学の修士課程に行き、修士論文でリチャード・ライトと取り上げたこともあって、1981年の夏くらいに黒人研究の会に加入了。月例会にも参加し、次の年くらいには例会の案内や会誌、会報の編集のお手伝いも始めていました。以降、1988年に退会するまで、毎年会誌に投稿し、月例会や総会で、口頭発表も続けました。

会報は22号から編集を担当したのですが、当時は、高校は辞めたものの、非常勤をやり

ながら定職の決まらない時期でした。

この年の11月に、ライトの国際シンポジウムに参加し、発表者でもあったケント州立大学の伯谷嘉信さんから、87年のMLA (Modern Language Association of America)での発表のお誘いを受け、「イギリス文学・アメリカ文学以外の英語文学」の部会で南アフリカの作家アレックス・ラ・グーマについて発表することになりました。

この会報の編集後記を書いたのは、シンポジウムに参加して帰った直後のことです。
編集後記

会誌55号を九月中旬に刊行するという約束を果たされた編集部代表の須田さんは、現在、アメリカの地。

アメリカだより、モロイセ氏の処刑、ライトのシンポジウムなど、「最新」の記事が集まりました。会報の充実を望んでいらっしゃった貫名さん、喜んで下さっていますか。

編集部には、この会報22号を送り届けたあと、会誌56号（貫名義隆氏追悼号）の仕事が待っています。時代を先取りした先人へのご恩がえしにふさわしいものにしたいと念じています。それが30年余の歴史を継承する次の布石のひとつとなりますように、と祈りながら……（玉）

黒人研究会 会報22号

発行日：1985年12月15日

編集： 須田稔、玉田吉行、宮本佳子、青山玲子、
北島義信

発行： 黒人研究会

〒657 神戸市灘区土山町6 神戸外大気付